

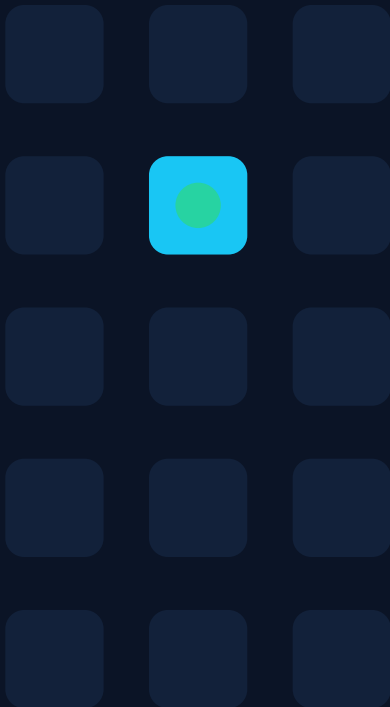
ホーム画面を、 次の顧客接点に。

One Page. One App.というPWA設計と、
登録・通知に依存しないホーム画面マーケティング。

WHAT IS OJAPP PRO?

既存のWebページをホーム画面へ置ける入口に変え、ホーム画面からの起動を計測し、その起動時だけメッセージや画像を提示できるPWAマーケティングサービスです。

DESIGN	MEASURE	ENGAGE
1P1A / 1S1A Manifest拡張	Home Screen Launches Offer View / Click	Home Screen Offer Message / Image / Link



Webページは、ホーム画面に残せる

PWAの価値を「ネイティブアプリの代替」だけで考えない。

Webページは通常、検索・SNS・リンクから訪問され、閉じれば入口も消えます。OJappは、再訪してほしいページそのものをスマートフォンのホーム画面へ置くことで、次の入口をWebの外側に残します。

One Page. One App.

サイト全体ではなく、商品、記事、ツール、店舗、イベント、予約ページなど『意味のある1ページ』を1つのアプリとして扱う。それが1P1Aです。

DIRECT

検索し直さない

ユーザーはホーム画面のアイコンから目的ページへ直接戻れます。

LOW FRICTION

登録を先に求めない

ホーム画面への追加に、OJapp側のユーザーアカウント登録は不要です。

QUIET

通知を前提にしない

事業者から追いかけるのではなく、ユーザーが必要な時に開きます。

WEB FIRST

既存Webを活かす

新しいアプリを一から作るのではなく、既存ページを入口として利用します。

1P1Aは、すべてのページを無理にアプリ化する考え方ではありません。ホーム画面に残す意味があるページを選び、そのページに専用の名前・アイコン・起動URLを持たせる設計です。

1S1Aと1P1A

どちらが正解ではなく、何を「1つのアプリ」と考えるかの違い。

	1S1A	1P1A
考え方	One Site. One App. サイト全体を1つのアプリとして設計	One Page. One App. ページごとにアプリとして設計
入口	サイト全体への入口	商品・記事・ツール等への個別入口
Manifest	サイト単位で共有しやすい	ページ単位の情報が必要
向くケース	ブランド/サービス全体	用途や目的が明確な個別ページ

OJappの1P1Aスクリプトは、ページURL・タイトル・アイコン候補などからWeb App Manifestを動的に生成します。ページごとに静的なmanifest.jsonを作り分ける手間を減らし、1行のスクリプトを中心にページ単位のPWA設計を実現します。

FREE CORE + PRO

FREEはPWAの入口を作る層。PROはその入口に、Manifest拡張・ホーム画面起動の計測・起動時限定Offerを追加する層です。

OJapp PROでできること

ホーム画面に置いた「その後」を設計する。

BRAND

Manifest Extension

Theme Color / Background Colorを設定し、ブランドに合わせたManifestへ。

ACCESS

Shortcuts

最大2件のショートカットを追加し、予約・メニュー等へ短距離で接続。

ANALYTICS

Home Screen Launches

standalone起動を記録し、ホーム画面からの再訪を把握。

INSIGHT

Page / OS Analytics

ページ別、OS別などでホーム画面起動の傾向を確認。

OFFER

Home Screen Offer

ホーム画面から起動した時だけ、メッセージまたは画像を表示。

ACTION

Offer View / Click

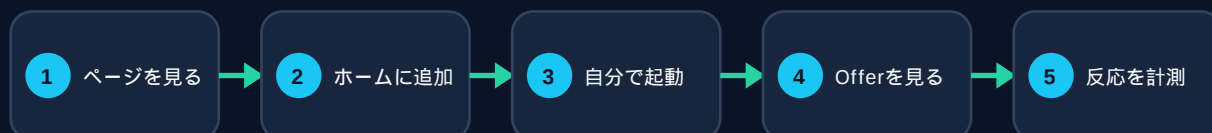
Offerの表示とクリックを計測し、起動後の反応まで確認。

ホーム画面起動時だけ

Offerは通常のブラウザ閲覧ではなく、PWAとしてホーム画面から起動された時に表示する設計です。Web訪問者全員へ同じポップアップを出すのではなく、すでにホーム画面へ残してくれたユーザーへの接点として使います。

設置 → 起動 → おもてなし

通知を送る代わりに、ユーザーが戻ってきた瞬間を活かす。



OJapp PROのマーケティング導線はシンプルです。まずホーム画面に置いてもらう。次に、ユーザーが必要な時に自分で起動する。その能動的な起動を計測し、その瞬間だけ限定情報や次の導線を提示します。

「Push」ではなく「Pull」の接点

ユーザーへ継続的にメッセージを送り続けるのではなく、ホーム画面に入口を残し、ユーザーが開いた時に価値を返す。OJappが重視するのは、この静かな関係性です。

Offerには短いメッセージ、画像、リンクURLを設定できます。リンク先は既存の予約ページ、EC、フォーム、決済、Notionなどでも構いません。OJappがすべての機能を抱え込むのではなく、ホーム画面と既存サービスをつなぐ接点として機能します。

Analyticsの考え方

PVだけでは見えない「ホーム画面との関係」を見る。

指標	何が分かるか	見る意味
Home Screen Launches	ホーム画面からPWAとして起動された回数	ホーム画面が再訪入口として使われているか
Page	どのページが起動されたか	どの1P1Aが残る価値を持つか
OS / Device	利用環境の傾向	実際の利用端末に合わせて改善
Offer View	Offerが実際に表示された回数	起動後の接触機会を把握
Offer Click	Offerからリンクへ進んだ回数	次の行動につながったかを確認

一般的なアクセス解析がWeb全体の流入や閲覧を扱うのに対し、OJapp PROはホーム画面という入口に焦点を当てます。『置かれたか』『そこから戻ったか』『戻った後に反応したか』という一連の行動を見るためのAnalyticsです。

Home Screen Offer

ホーム画面に残してくれた人への、小さなおもてなし。

TEXT

MESSAGE

更新情報、限定案内、次に見てほしいページなどを短い文章で提示。

VISUAL

IMAGE

キャンペーン、イベント、商品、クーポン等を画像1枚で提示。

URL

LINK

予約、購入、フォーム、会員ページなど既存のURLへ接続。

UX

SESSION CONTROL

同じ訪問中に何度も大きく表示しないよう、接触頻度を制御。

広告枠ではなく、起動への返礼

ホーム画面から開くという行動は、通常の偶発的なWeb流入よりも明確な意思を伴います。Offerはその瞬間を利用して押し売りするのではなく、『戻って来てくれた人に何を返すか』を設計する機能です。

表示後はコンパクトなボタンへ格納し、必要なら再表示できます。体験を邪魔し続けないことも、ホーム画面に長く残してもらうための重要な設計です。

メッセージ配信型サービスとの違い

競合というより、顧客接点の作り方が違う。

LINE公式アカウントのようなメッセージ配信サービスは、友だちへ情報を届けることに強みがあります。一方、OJapp PROはメッセージ配信サービスではありません。ホーム画面に入口を残し、ユーザーが自分で開いた時に情報を見せる設計です。

比較	LINE公式アカウント	OJapp PRO
主な接点	友だちへのメッセージ配信 / チャット	ホーム画面のアイコン / PWA起動
ユーザー行動	友だち追加後、配信を受け取る	ホーム画面へ追加し、必要な時に自分で開く
月額	0円 / 5,000円 / 15,000円（税別）	1,280円 / 月 14,000円 / 年
無料・基本枠	200通 / 5,000通 / 30,000通	メッセージ配信通数という概念なし
追加配信	Standardのみ追加可、最大3円/通（税別・現行）	Push配信を行わないため追加送信料金なし
向く目的	情報を届ける / 会話する	再訪入口を残す / 起動時に案内する

LINE公式アカウントの料金は2026年8月時点の公式情報。コミュニケーションプラン0円・200通、ライト5,000円・5,000通、スタンダード15,000円・30,000通。スタンダードのみ追加メッセージが可能で、現行の追加料金は最大3円/通（税別）。公式サイトでは2026年10月1日に追加メッセージ料金改定予定と案内されています。

OJapp

PROとLINE公式アカウントは機能的な代替関係を意味する比較ではありません。料金と接点モデルの違いを示すための比較です。

想定ユースケース

『また開く理由』があるページほど、ホーム画面との相性がいい。

EVENT

EVENT / FESTIVAL

タイムテーブルや会場案内をホームへ。Offerで当日の更新や次回案内へ。

STORE

CAFE / RESTAURANT

メニュー・店舗ページを残し、予約や限定案内へ接続。

UTILITY

WEB TOOL

画像ツール、計算機、ジェネレーターなどを専用アイコンで直接起動。

COMMERCE

CREATOR / EC

商品・作品・販売ページを個別入口にし、新作や限定販売をOfferで案内。

ACCESS

FACILITY

施設案内、空席、Wi-Fi、利用方法など『その場でまた見る』ページを常駐。

CONTENT

MEDIA / BLOG

特定の記事・連載・まとめページをホームに残し、次回の再訪導線に。

OJapp PROが向いているのは、毎日通知を送りたいケースだけではなく、『頻繁ではないが、次に必要になった時すぐ開けると便利』というページにも向いています。検索し直すコストが高いほど、ホーム画面の入口は価値を持ちます。

導入方法 / Quick Start

既存サイトを作り替えず、発行された1行を追加するところから始められます。

OJapp PROの導入で、サイト側に必要な基本作業はシンプルです。登録後にサイトを設定すると、そのサイト専用のJavaScriptが発行されます。あとは対象サイトへ読み込ませます。

STEP	操作
1	OJapp PROに登録し、利用するサイトを登録する。
2	PWAの設計を 1P1A または 1S1A から選ぶ。
3	発行されたサイト専用の1行スクリプトをWebサイトへ追加する。
4	必要なページだけ、アプリ名やアイコンを個別に指定する。
5	DashboardでTheme Color / Background Color / Shortcuts / Offerを設定する。
6	Home Screen LaunchesやOfferの反応を確認しながら運用する。

サイト側に追加する基本コード

```
<script src="https://ojapp.app/js/oj_xxxxx.js"></script>
```

oj_xxxxx.js は例です。実際には登録したサイトごとに専用のURLが発行されます。

導入に必要なコードは、基本この1行です。

PWA化の基本処理やPRO機能の読み込みをサイト側へ大量に書く必要はありません。設定はOJapp側で管理し、サイトには発行されたスクリプトを読み込ませます。

ページごとの指定も必要な時だけ。

1P1Aでは、ページ固有のアプリ名やアイコンを指定したい場合に、ojapp:title / ojapp:iconを追加できます。指定しない場合は、ページ側の情報を利用してManifestを生成します。

```
<meta name="ojapp:title" content="App Name">
```

```
<meta name="ojapp:icon" content="/icon.png">
```

最初からサイト全体を作り替える必要はありません。まず1ページから試し、ホーム画面という入口がそのページに合うかを確認できます。導入の軽さも、1P1Aを既存Webへ追加しやすくするための重要な設計です。

Conclusion

閉じたら終わる場所にしない。

Webには、アプリストアを経由せずURLだけで誰でもアクセスできる強さがあります。1P1AはそのWebページをホーム画面へ持ち込み、OJapp PROはその入口に計測と起動時体験を加えます。

ホーム画面マーケティング

登録を増やすことでも、通知を増やすことでもない。『また来たい』と思ったページをホーム画面に残し、ユーザーが戻ってきた瞬間に価値を返す。OJapp PROは、そのためのPWAマーケティング基盤です。

MONTHLY	YEARLY
¥1,280 / month	¥14,000 / year
1契約 = 1ドメイン	1契約 = 1ドメイン

FEATURES

1P1A / 1S1A | Manifest Extension | Shortcuts | Home Screen Launches | Page / OS Analytics | Home Screen Offer | Offer View / Click

外部比較情報: LINEヤフー for Business 「LINE公式アカウント料金プラン」(2026年8月確認)。料金・仕様は変更される場合があります。
OJapp PRO / Public Whitepaper / August 2026